

春の便りも伝わる今日この頃、今年度もいよいよ残りわずかとなりました。  
 今年度より、こども若者家庭センターとして新たなスタートを切りましたが、変わらず多くの皆様方に支援係「ぬっく」を利用していただきました。  
 子ども理解講座や子ども支援研修会も動画配信やオンラインでの実施を継続し、多くの方々に参加していただくことができました。今後も、子どもたちが自分らしく成長し、自己肯定感を高めていくためのお手伝いが少しでもできればと考えています。  
 来年度も、御理解・御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 令和7年度(2月末現在)

#### 【実人数の段階別内訳】

**相談延べ件数3,548件**

(昨年度同時期3,954件)

**実人数 457人**

(昨年度同時期 463人)

段階	人数	割合
乳幼児(0~6歳)	112人	24%
小学生	250人	55%
中学生	60人	13%
高校生以上	35人	8%
合計	457人	—



#### 令和7年度 子ども理解講座(保護者、関係職員対象)

☆テーマ:『メディアや SNS と上手に付き合う子どもを育てる』

講師:梅花女子大学心理こども学部教授 今井 正司氏

動画配信期間 7月18日~8月29日 (20分程度×3本の動画で配信)

○子どもにも大人にも SNS や AI なしの生活は考えられなくなっている現代、動画やゲームは敵ではなく、大人が冷静に提供できる仕組みや科学的根拠を示しながら、使い方を工夫してメディアと上手に付き合っていく方法を考えることができました。



#### 令和7年度 子ども支援研修会(関係職員対象)オンライン

##### 第1回

☆テーマ:「令和型不登校の理解と配慮の実際」 6月18日

講師:子どもの発達科学研究所 副所長・主任研究員 大須賀 優子氏

【感想】・不登校への対応は、問題が表面化してからでは遅く予防的支援が大切であること、そしてそれは気になる子だけでなくすべての子どもに必要なことであることがわかった。

##### 第2回

☆テーマ:「子どもの行動支援を考えよう ~ほめ方・しかり方~」 11月12日

講師:子どもの発達科学研究所 副所長・主任研究員 大須賀 優子氏

【感想】・よい行動に注目して、子どもを観る。それによって、子どもは見てくれていると感じ、次も頑張ろうという気持ちに繋がっていくと感じた。しかる、ほめる、教えるの3つを上手に使い分けながら、子供たちに寄り添っていきたい。